


一般質問通告書

次のとおり、質問したいので通告します。

平成27年11月16日

山北町議会議長 府川 輝夫 殿

受付番号	第2号	質問議員	13番	庄野京子 
件名	1. 特定不妊治療と不育症に町独自の助成を 2. 高校卒業まで小児医療無料化を求む			
要 旨				
<p>1、特定不妊治療と不育症に町独自の助成を</p> <p>特定不妊治療に平成16年から県が15万円の助成事業をしております。</p> <p>特定とは、保険適用外の体外受精や顕微授精で1回15万円～50万円の自己負担を要します。不育症とは、妊娠しても流産や死産など2回以上繰り返す場合をいう。上郡の他町では10万円、松田町では20万円を上乗せしております。</p> <p>年収730万円までで年間6回まで5年間に限り、小田原保険センターのヒヤリングで山北町では3組のカップルで7件、27年度は10月15日現在、2人の女性が3件利用しております。この治療は時間がかかり、つらいものです。</p> <p>近年は女性の社会進出で、子どもが欲しくなった時には卵子が若くない、あるいは異状なダイエットや男性側に原因がある場合もあります。私と同年代の友人に長い不妊治療で2人の子をさずかり、お孫さんも元気にしております。ぜひ不妊治療と不育症に町独自の助成を付けてください。</p> <p>2、高校卒業まで小児医療費無料化を求む</p> <p>国の小児医療無料化は就学前であり、それ以上の負担軽減している自治体にはペナルティを科します。年間全国で360億円、小学生以上には35億7千万円、対象市町村は1,154、これは高齢者、障害者あわせてで、山北町の子育て支援の素晴らしさは、県の調整交付金や町財政をやりくりして、これまでの制度を維持していると思います。</p> <p>子育て世代の生活の厳しさに高校卒業まで医療費を無料化して、体調がおかしくなったら医療機関にとび込めるよう家計を補助してください。</p> <p>社会人になって勤務の都合上、不便な御殿場線のために町を出ても、やさしく、自然豊かな山北町にある程度の年齢になったらIターン、Uターンして来てくれるでしょう。</p>				